

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年3月18日（水）

2 確認箇所

3号機タービン建屋（図1）

3 確認項目

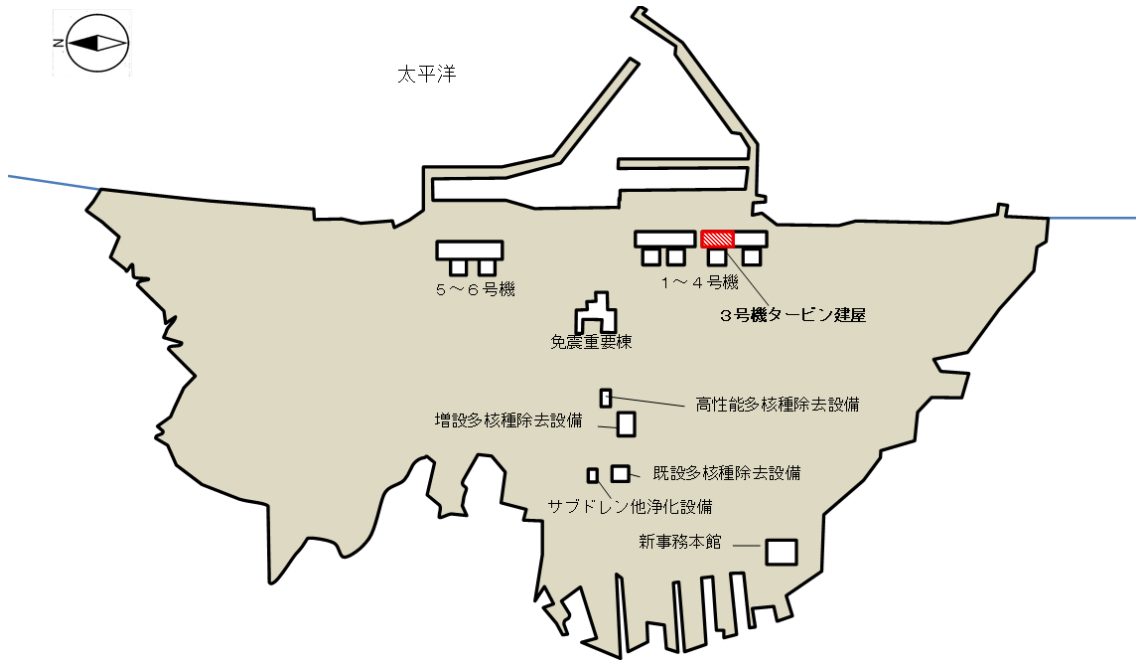
3号機原子炉格納容器（PCV）ガス管理設備の現況

4 確認結果の概要

原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内は、窒素封入設備により窒素ガスで満たされ、さらに周囲から空気が流入しないように正圧（大気圧より高い圧力）に保たれている。またPCVガス管理設備により、放射性ダストを除去するフィルターを通して排気するとともに、PCV内部の水素濃度、放射性希ガス濃度等を常時監視している。

本日は、3号機PCVガス管理設備の現況を確認した。（前回確認：2号機PCVガス管理設備 令和7年3月19日）

- ・ 3号機PCVガス管理設備の一部（PCVガス管理設備現場制御盤及び希ガス放射線モニタ等）は塩害対策のため、ハウス内に設置されていた。（写真1）
- ・ PCVガス管理設備にはPCVから気体を取り込むための排気ファンが2系統設置されており、排気ファンには重要設備であることを示す表示が貼付されていた。（写真2）
- ・ 放射性物質を除去するためのフィルターユニットが設置されており、被ばく低減対策として遮へいシートで覆われていた。（写真3）
- ・ 確認した範囲において、配管からの漏れやファンの異常な振動などは認められなかった。（写真4）



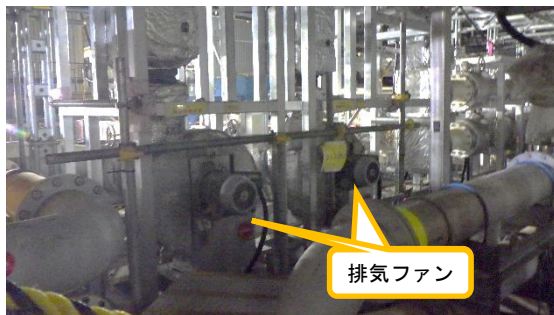
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1①) 塩害対策ハウスの設置状況



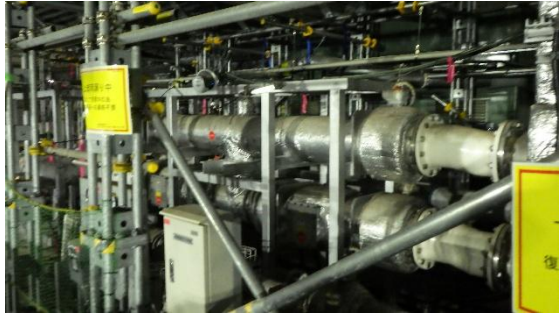
(写真1②) 塩害対策ハウス用送風機の設置状況



(写真2) 排気ファンの設置状況



(写真3) フィルターユニットの設置状況



(写真 4 ①) 配管の敷設状況①



(写真 4 ②) 配管の敷設状況②

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。